


まちだ市民大学HATS

講座案内

こんな講座を開催しています



まちだ市民大学HATSは、「将来の都市像の実現に欠くことができないマンパワーづくり」を事業目的としています。あなたを励まし、地域を育てる」を基本コンセプトに掲げ、市民参画によるプログラムづくりを行っています。各講座は、市民が主体的により深く学ぶことのできる長期講座を特色として、受講した市民の意見や市民自らの課題が講座に反映されるよう配慮され運営されています。

学習内容としては、第1に、町田の自然に触れる「多摩丘陵の自然入門」講座や、縄文時代から現代までの町田の歴史を学ぶ「町田の郷土史」講座のように、町田という地域の特性に根ざした様々な調査研究の成果を学び、郷土への認識を深める「まちだ学」の領域があります。

第2の学習内容としては、地域社会を支えるマンパワーの育成やまちづくりに参画しようとする市民への支援を目的とした「市民学」の領域があります。具体的には、高齢化、国際化、環境問題、介護、福祉、医療など町田の地域課題を学ぶことを通して、市民がそうした課題に主体的に向き合うことを目指した「人間



Humanity 人間性
Art&Literature 芸術・文芸
Technology&Science 技術・科学
Sports&Health スポーツ・健康

☆名称にある「HATS」とは、このような市民大学の学習領域を示しています。

科学」「人間関係学」「まちだ市民国際学」「まちだ市民環境学」「環境にやさしい陶芸入門」講座があります。

特に、市内の環境保全団体の協力を得て実施する町田の環境・参加体験講座「まちだdeエコ・ツアー」や、市内福祉施設での実習と講義で学ぶ「まちだの福祉講座」は、多くの市民ボランティアを生み出し、市民協働のまちづくりに貢献しています。

2011年度も市民大学HATSでは、下記の講座を4月から開講します。詳しくは、市内各施設等で4月6日まで配布中の「募集案内」、もしくは町田市のホームページをご覧ください。

問い合わせ
 まちだ市民大学HATS
 ☎729・1195



▲車椅子の介護実習風景



▲抹茶茶碗作製風景(寄せ上げづくり)



▲小山田1号遺跡の見学風景

2011年度 通年・前期 実施講座一覧	テーマ	曜日・時間	期間・回数	定員・参加費	おすすめ ポイント
多摩丘陵の自然入門	—	日曜日10:00~15:00 (例外あり)	4/24~12/4 全13回	50名 3,000円	町田市内のフィールドで自然観察を行い、親しみ楽しみながら、多摩丘陵の自然を知り、自然保護の実情について学びます。
まちだの福祉	あなたに合ったスタイルで福祉を学ぶ	実習 平日の昼間 講義 土曜の昼間	通年 4/23~12/3 全14回 短期 4/23~7月 全7回	各コース 7~10名 1,000円	町田市内福祉施設で体験実習を行います!!「清風園コース」「福音の家コース」「大賀菫(くわし)館コース」「花の家コース」の4コースがあります。福祉施設での実習のほか、講義では認知症の支援等を学びます。
まちだ de エコ・ツアー	ここからはじめるエコ・アクション	土・日曜日昼間	5/7~7/24 全11回	24名 1,000円	・農地・竹林・緑地・恩田川・湧水など、盛りだくさんの活動現場で、滴る心地よい汗を体感! ・春夏の太陽の下、軽やかな足取りで参加して下さい!
まちだ市民国際学	今、改めて核を学ぶ	木曜日18:30~20:30 (例外あり)	4/21~6/30 全10回	60名 3,000円	世界では今、イランにみられるように核をめぐる様々な駆け引きが行われています。また原子力発電にも脚光をあてられています。知っていると知らない「核」をめぐる様々な問題を通して、唯一の被爆国である日本の私たちに何ができるのかを考え学びます。
町田の郷土史 I	縄文から幕末まで	火曜日18:00~20:00 (例外あり)	4/19~7/12 全12回	60名 3,000円	町田市はどんなまちか、町田の歴史を学ぶための入門的な講座です。縄文から幕末まで必要な事柄を、時代を追って学習していきます。(初めて受講される方が優先となります)
陶芸入門講座	—	水曜日13:30~15:30	4/20~7/27 全9回	24名 15,000円	初心者を対象に、粘土を練ることからはじめ、ひも作りやタタラ作りなどの基本的な技法を学び、陶芸の工程を一貫して学ぶ入門講座です。(初めて受講される方が対象となります)
陶芸 電動ロクロ体験講座	地球にやさしいやきものリサイクル	土曜日13:30~16:00	5/14~7/16 全5回	15名 9,000円	・初心者を対象にした電動ロクロでの作品づくり! ・やきものがリサイクルできるって知っていますか?講座でその答えがわかります。 ・町田産の粘土を使って作品を作ります!!
人間科学	現代の「生老病死」と向き合う	月曜日18:30~20:30	4/18~7/4 全12回	60名 3,000円	「日本人の死のあり方とは?」「人はなぜ老い、病気になるのか?」「医療崩壊はどう向き合うべきか?」「再生医療など技術が進歩する中、人間社会はどうあるべきか?」「まちだを『終の棲家』にしたい」など生老病死をめぐる諸問題を学びます。

※前期「心と体の元気学」はお休みになります。

一方、後期(9~12月)には「まちだ市民環境塾」今地球に起きている事をしっかり



▲ポイ捨て防止パトロール

このような体験学習と併せて、市内のごみ処理施設や下水処理施設の見学を行い、さらに、エコに取り組み市民協働の現場として、町田駅周辺の「ポイ捨て防止パトロール」へも参加しました。



▲鶴見川のわんどで魚とり

2010年度の市民大学HATSでは「まちだdeエコ・ツアー」ここからはじめるエコ・アクション」と題した全11回の体験講座を前期(5~7月)に実施しました。環境保全に取り組んでいる市民団体やNPOを訪ね、一緒に保水の森の竹を切ったり、緑地の草を刈ったり、川に入り植生を調査したり掃除をしたりしました。

世の中は空前の
エコ・ブーム

そんな今だからこそ
 地に足のついた
エコ・アクションを!

以上のように市民大学HATSでは前期・後期を通して、町田という地域性に根ざした環境講座を実施しています。これらの講座は、受講生にとっては「エコ友達」をつくる場でもあり、今も多くの受講生が楽しく環境保全に取り組んでいます。なお、2011年度も市民大学HATSでは環境講座を実施しますので、市民の皆さまの参加をお待ちしております。



▲まちづくり推進課とグループワーク

こうした視点を軸に、自宅までできるエコライフ、ごみ・リサイクル問題、食の安全性、景観保全活動、環境教育などに関する講義も行い、市民が自分の暮らしの中で地球環境問題を受け止めていくきっかけを提供しました。

10月に名古屋で開催された「COP10生物多様性国際会議」に参加した環境省の取り組みを学ぶ講義、町田市民の生活の場である鶴見川流域の生態系保全を考える講義、絶滅危惧種の繁殖基地という新たな目的を推進する動物園のプロジェクトを学ぶ講義を実施しました。

と学びます」と題した全11回講座を実施しました。講座の軸に「生物多様性」を据え、複雑で多様な生態系をどう保全していくかというテーマの下、私たち町田市民にとって生物多様性とは何かを学びました。